

# 令和6年度 第1回NTT-OB・OG大学

今年度最初のイベントである「第1回NTT-OB・OG大学」は去る7月5日（金）NTT岩手支店第2ビル会議室に於いて開催されました。

講師にはおなじみの下山寛さんを迎え「江戸時代初期の盛岡の町割り」と題した講演を行っていただきました。下山さんにはこれまでも南部藩と戊辰戦争など、盛岡の史実に基づいた講話を語っていただき、今回が4回目の講演となりました。

講演開始の14時には盛岡電友会の会員など43名が2階の会議室に集まり、小野寺会長の開催あいさつに続き司会の浪岡さんから講師の紹介があり、いよいよ講演が始まりました。

住み慣れた三戸（青森県）からなぜ盛岡へ城を移したのか、北上川の度重なる氾濫で現在の菜園や大沢川原は湿地帯だったため大変な苦勞をして護岸工事を行い川の流れを切り替えたこと、お城を中心に土農工商が住居エリアとして分けられており、街路の交差は直線的には交わらず「五の字」のような形状は現在もそのまま残っていること、当時23の町がありその境界には木戸を建て夜間は見張りがいて行き来できなかったこと（通信部にいた某3人のように、当時は夜な夜な三軒には通えなかった件で大爆笑が沸きました）などなど、聞けば聞くほどなるほどなあと思える内容でした。説明資料の中には現在の盛岡市内あちこちの映像も出てきて、見ている皆さんも頷きながら聞き入っていました。

講演会終了後は参加者全員で記念撮影を行い、その後2次会会場である第1ビルの食堂へ移動。高橋道幸さんの司会で恒例の納涼会が開宴、大森さんの乾杯の音頭で冷えたビールを一気に流し込み、おいに盛り上がっていました。

講演していただいた下山さん、OB・OG大学に参加した会員の皆さん大変ご苦勞様でした。12月の第2回OB・OG大学もよろしくデス。



小野寺会長の開催挨拶

総合司会の浪岡さん

下山さん 間もなく91歳

受付の皆さん

